

# 第 43 回山口県学校環境衛生研究大会第 1 課題

報告者 桑田 みゆき

## 「学校環境衛生、保健委員会、薬品管理」

### 学校環境衛生

「職場で生かす学校環境衛生 Q & A」

～養護教諭の声に答えて～

山口県学校薬剤師会 副会長 河添 真一

学校の先生方が環境衛生に関して日ごろ感じている様々な疑問や不安などを予めアンケートで聞き取り、それに答える形で発表が行われました。

- ・平成 30 年 4 月に一部改正された学校環境基準の概要（教室の望ましい温度の変更等）
- ・エアコン導入に伴う注意点（換気、気流、粉じん、エアコンのお手入れ方法等）
- ・インフルエンザ流行時の加湿方法の紹介や加湿器利用の際の注意点
- ・改善に伴う費用について

山口県学校薬剤師会のホームページの Q & A によくある質問を載せています。またメールでの質問も可能です。

### 保健委員会

「より良い学校環境をめざした組織活動について」

～手洗い・うがいの習慣化に向けた

保健委員会の取組～

山口市立大殿小学校 教諭 永久 和恵

「元気いっぱい 大殿健児！」をテーマに、「る(食べる)・る(寝る)・ぶ(遊ぶ、学ぶ)」をサブテーマとし、5つの努力点を設定。そのうち「手洗い・うがいの徹底」を重点項目とし、全校、学年・学級、児童委員会活動だけでなく、学校保健委員会での学校薬剤師による手洗い指導や助言、家庭との連携により、手洗いに對する意識が高まり、健康で元気な生活につなげる取組を発表されました。

- ・ブラックライトを使って手の汚れを観察する
- ・「あわあわ手あらいのうた」を 4 時間目終了後と掃除終了に合わせて校内放送で流す
- ・手洗い場のチェックを保健委員会で行い、点検結

果を整理し校内放送で全校に知らせる

- ・「ハンドペたんチェック」という寒天培地を使い、汚れと手洗いの関係について実験と考察を行う
- ・冬休みには家庭用のチェックカードを作成し、家庭でも継続して取り組んでもらう

以上のような取組の結果、手洗いやうがいに対する意識が高まり、前年度に比べてインフルエンザに罹患した児童の数も減少したそうです。

### 理科薬品管理

「理科薬品等の適正な管理について」

山口県教育庁高校教育課 指導主事 河内 満  
理科薬品の管理のポイントを、わかりやすく説明していただきました。

- ・山口県教育委員会作成の「適正な理科薬品の管理と安全な理科実験の手引き」(ダウンロード可)に沿い、適正な管理、保管に努めること
- ・帳簿の種類と保存期間について
- ・薬品使用票は補助簿であり、薬品保管使用簿への転記は速やかに行うこと(日付が一致すること)
- ・年間使用計画を立て不用な量の薬品購入を避けること
- ・希釈使用する場合は使い切るよう努めること
- ・廃液や不用薬品の処理は計画的に行うこと
- ・養護教諭はその日どのような内容の実験が行われるかを把握しておくこと
- ・2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、爆発物の管理強化について

最後に第 1 課題全体について、日本薬剤師会常務理事・学校薬剤師部会部会長の村松章伊先生と山口県学校薬剤師会監事の西村正広先生より丁寧な指導助言をいただきました。